
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第13号（2017. 3. 9）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第13号をお届けします。

今回の活動紹介は、滋賀県東近江市の魚のゆりかご水田協議会と北海道夕張市における取組をご紹介します。

また、広域活動組織の設立を支援している事例等についてもお知らせします。

==== 第13号の目次 =====

- 1. 多面的機能支払交付金を用いた活動紹介
 - ☆魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）☆
 - ☆北海道夕張市における取組☆
- 2. 滋賀県土地改良事業団体連合会の取組（広域活動組織設立の推進）
- 3. 多面的機能支払に関するイベント開催報告
 - ☆平成28年度「とんぼの未来・北の里づくり」活動組織等技術支援研修会☆
- 4. 事例研究会シリーズ～多様な参画・連携の促進（Team 雑田堀）～
（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）☆

本地域は、びわ湖に面し、かつてはフナやナマズ等が水田に遡上・産卵・孵化し、生育後は湖に回帰していました。しかし、治水事業によるびわ湖の水位低下対策や用排水分離による水田と排水路の段差の出現により、遡上が困難となっていました。

そこで、施設の長寿命化のための活動で老朽化した排水路を補修するとともに、県の要綱基本方針に基づき、排水路から水田に遡上できる魚道の整備を行った結果、水田にフナなどの在来魚が戻ってきました。

整備した水路では、水田オーナーや小学校、企業と連携し、次世代を担う子

どもたちとともに、びわ湖の水質保全や生物多様性の保全をはじめとする、環境教育と地産地消の食農教育といった活動を展開してきました。この活動が認められ、平成 28 年度の日本農業賞・食の架け橋部門で大賞を受賞することができました。

施設の長寿命化のための活動は、農業施設の維持や補修のために非常に重要な役割を果たしているだけでなく、地域の環境や食農教育の場を創設しており、次世代を担う子どもたちへ引き継ぐ財産を守るために極めて重要であると痛感しております。

今後も、施設の長寿命化のための活動に取組み、次世代を担う子どもたちへ地域の宝を引き継いでいきたいと思っております。

栗見出在家町・魚のゆりかご水田協議会 HP

→ <http://members.e-omi.ne.jp/kurimi-dezaike/>

【魚のゆりかご水田協議会 会長 今堀一信】

☆北海道夕張市における取組☆

夕張市は北海道中央部の山間地に位置し、周囲を山岳に囲まれた、気温差が著しい地域です。

この地域特性を生かして、現在、市内 112 戸の農家が生産している「夕張メロン」は、夕張市の農業生産額の約 9 割を占め、平成 27 年 12 月に地理的表示（G I）保護制度の国内第 1 弾の登録 7 品目の一つとして認定されました。

夕張市には現在、多面的機能支払に取組む 8 つの地域資源保全協力会があり、約 659ha の畑と一部水田の保全管理に取り組んでいます。主な取組内容は、鳥獣害防護柵の維持管理や農用地（ハウス含む）周辺の草刈、排水路の泥上げ、遊休農地発生防止のための保全作業や景観作物等の作付けなどです。

更には、メロン等の農作物の天敵である特定外来種「アライグマ」の駆除も全ての協力会で取組んでおり、農作物被害の軽減に大きく寄与しているところではあります。

これら鳥獣被害や病害虫、遊休農地の発生防止の取組が、おいしい「夕張メロン」の更なる品質と生産性の安定に繋がり、G I 登録に至ったものと考えています。

これからも、G I ブランド「夕張メロン」を次の世代に引き継ぐため、地域一丸となって農地、農業用施設と農村環境の保全管理に取り組んでいきます。

【夕張市役所建設農林課 宮崎】

■ 2. 滋賀県土地改良事業団体連合会の取組（広域活動組織設立の推進） ■

～「多面的機能支払交付金」に基づく広域活動組織の設立と運営をお手伝いし

ます～

滋賀県土地改良事業団体連合会では、「滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会」の一員として対策の推進を担うとともに、これまでも個別活動組織の負担軽減を図るため、実績報告書の作成等の事務を受託してきました。

こうした実績を活かし、広域化に関して市町や活動組織を積極的に支援していきたいと考えています。

具体的には、広域活動組織の「設立支援（設立するための協議、説明、手続き等）」、「運営支援（市町への交付金の請求、運営委員会総会や研修会の開催、活動記録や金銭出納簿、実施状況報告書作成等）」を行っていきたくと考えています。

お問い合わせ先「滋賀県土地改良事業団体連合会 企画環境課」

PR チラシ

→ http://www.midorinet-shiga.com/file.php?upload_no=209

【滋賀県土地改良事業団体連合会】

■ 3. 多面的機能支払に関するイベント開催報告 ■

☆平成 28 年度「とんぼの未来・北の里づくり」活動組織等技術支援研修会☆

北海道日本型直接支払推進協議会（道協議会）は、2月2日（木）、ホテルさっぽろ芸文館「ニトリ文化ホール」で、平成 28 年度「とんぼの未来・北の里づくり」活動組織等技術支援研修会を開催しました。

この研修会は、資源向上支払（共同）の地域活動指針に基づく「機能診断・補修技術等の研修」の一環として開催し、全道の活動組織等から約 1,600 名の参加がありました。

北海道の荒川裕生副知事のあいさつの後、北海道大学の長澤徹明名誉教授から、「北海道における農用地の機能保全」と題して、融雪時の農地の土壌侵食及び凍結融解現象を念頭に置いた農用地保全対策の必要性などについてご講演いただきました。講演後、道協議会事務局から地域資源保全管理構想の策定など多面的機能支払の取組に関する説明を行いました。

参加者からは、農用地の保全管理に対する認識が深まったなどの感想が寄せられました。

研修会での配付資料はこちらから

→ <http://www.do-nouchimizu.com/2017/02/shien20170215/>

【北海道日本型直接支払推進協議会】

■ 4. 事例研究会シリーズ～多様な参画・連携の促進（Team 雑田堀）～ ■

昨年 11 月に開催した事例研究会の発表の中から、多様な参画を得ながら活動

に取り組んでいる東京都府中市の「Team 雑田堀」を紹介いたします。

本組織は、都市化に伴い農業用水路の暗渠化が進む中、地域に残された開水路の雑田堀用水を地域住民や子どもたちのために守りたいとの思いから、雑田堀用水の清掃活動を行っていた PTA や教職員等の有志によるグループが農業者と連携して活動組織を設立しました。

雑田堀用水の清掃活動には、子どもたちも多く参加していますが、一時期は参加者数が減ってしまったこともあったため、参加を促す仕組みとして、活動に参加するとポイントが貯まるカードの発行や清掃終了後にイベントを催すなど、活動の魅力を高める工夫を行っています。また、地元企業にも積極的に働きかけて、清掃活動への協力を促し、地域一体となった活動に発展しています。

詳しくは、HP に掲載した Team 雑田堀の発表資料をご覧ください。

発表資料はこちらから（農水省 HP）

→ http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H28.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

少しずつ暖かくなり、春が近づいているなあと感じます。春といえば新生活の時期ですね。私はそろそろ引っ越しの準備をしないといけないのですが、一向に部屋が片付けられません。去年の春に引っ越してきたときより明らかに増えた荷物を見ないようにしながら生活を送っています。部屋ごと引っ越ししたいものです。

◇ メールマガジンの新規登録は次のサイトからお願いします ◇

メールマガジンの新規登録・配信変更等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

既に本省及び農政局等で発行しているメールマガジンにご登録されている方は、パスワードが必要です。パスワードの発行はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

農水省 HP にて、過去に配信されたメールマガジンを閲覧はこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

メールマガジンに関するご意見・ご感想はこちらから

ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）を掲載したい方や、取り上げて欲しいテーマがある方のメールもお待ちしております。

→ tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：秋山）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
